

令和7年12月末に文部科学省が発表

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」

令和7年12月22日に文部科学省が令和4年12月に示したガイドラインの改訂版を発表しましたので概要をお伝えします。詳細は以下のホームページで確認できます。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop04/list/1405720_00025.htm

●改革実行期間

令和8年度から13年度（令和8～10年度「前期」、令和11～13年度「後期」）を「改革実行期間」とし、原則、全国のすべての学校部活動で休日の地域展開の実現を目指す。平日については、まずは国において、改革前期の間、実現可能な在り方や課題への対応策の検証等を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を策定する。

●地域クラブ活動の在り方

学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ地域全体で支える。

●地域クラブ活動の目的

あくまで生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであり、競技性や成果のみに偏重せず、生涯にわたり楽しむために必要な資質・能力を育成することを主な目的とする。

●認定制度

競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保の観点から、国が示すガイドライン（認定要件及び認定手続）に基づき、市区町村が認定する。

認定された活動については「認定地域クラブ」と呼称する。

※認定されていない地域クラブについて

- ・中学生対象の活動としての質の担保等の観点から、認定要件に準じた活動を実施する。
- ・特に活動時間・休養日の設定や、暴力・暴言・ハラスメント、いじめ等の不適切行為の防止、生徒の安全を確保すること

●中学校との連携

・地域展開された場合でも、学校との関係が切り離されるのではなく、適切な連携を図る。

- ・活動方針・活動状況の共有
- ・平日の学校部活動との綿密な連携（指導の一貫性）

国のガイドラインに示された地域クラブの認定要件には、

- ① 教育的意義の継承・発展、生徒の豊かで幅広い活動機会の保障
 - ② 平日は1日2時間、休日は1日3時間以内、週2日以上の休養日の設定
(休日のみの場合は、土日のどちらかを休養日に設定)
 - ③ 活動の維持・運営に必要な範囲で可能な限りの低廉な参加費の設定
 - ④ 暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の防止徹底
 - ⑤ 施設・設備等の点検、緊急時の連絡体制の整備や保険の加入などの安全確保
 - ⑥ 法令遵守、規約等の作成・公表、公平かつ適切な会計処理などの運営体制
 - ⑦ 活動方針やスケジュール、活動状況等に関する学校等との連携
- などがあります。

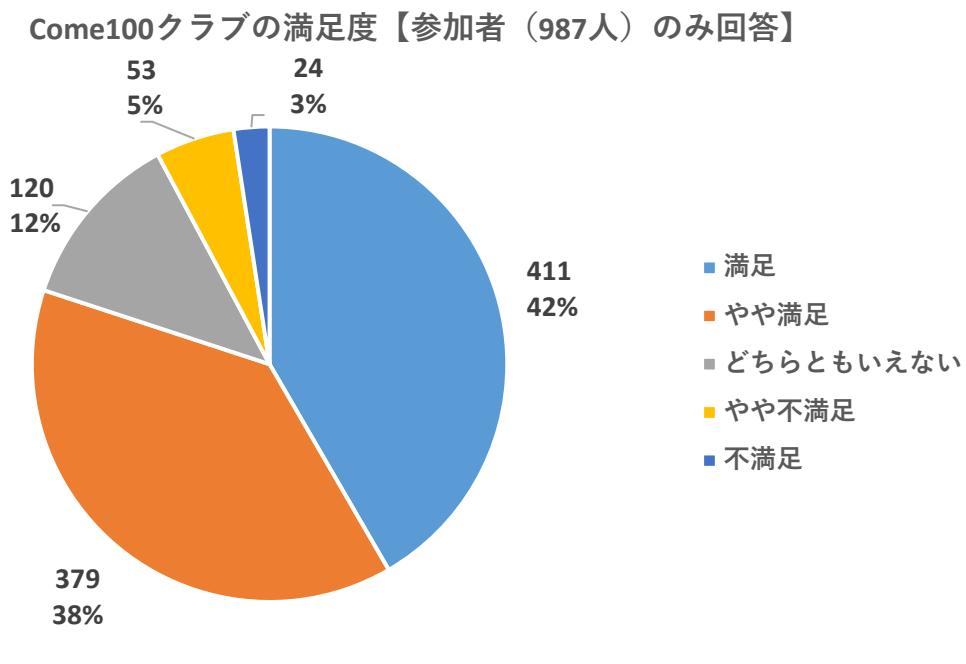
ながおかCome100クラブは、すべて

長岡市が認定した国が示す認定要件を満たした「認定地域クラブ」となります。

部活動地域移行（展開）に関するアンケートを実施しました。 調査結果をお知らせします。

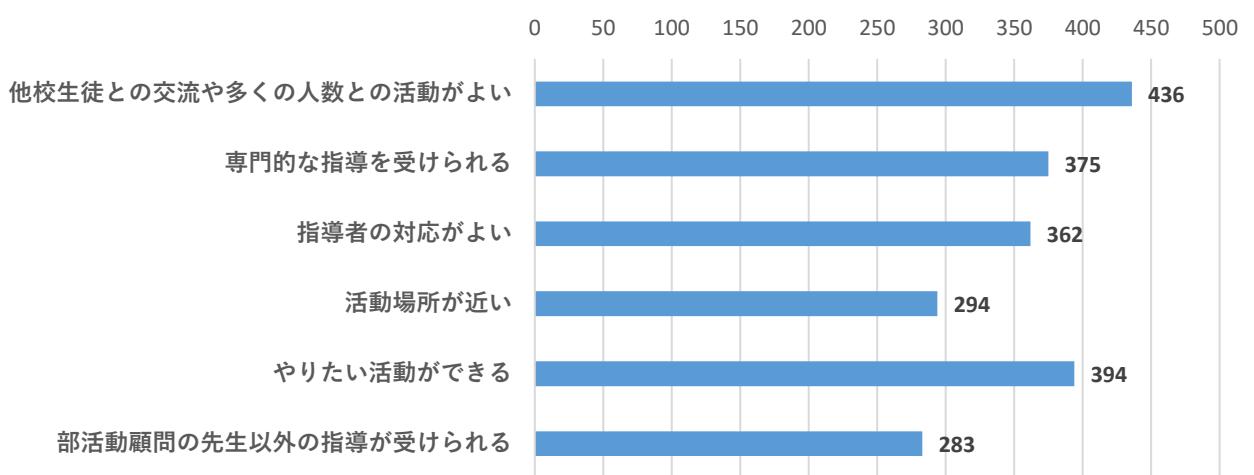
期 間 令和7年11月4日～14日
対象者 長岡市立中学校1・2年生
回答数 2,773人（70.8%）
目 的 地域移行（展開）後の、地域クラブ活動に参加する生徒と参加していない生徒の実態を把握し、さらなる地域クラブ活動体制の改善及び中学校生活の充実に役立てる。

【地域クラブ活動参加者の結果】



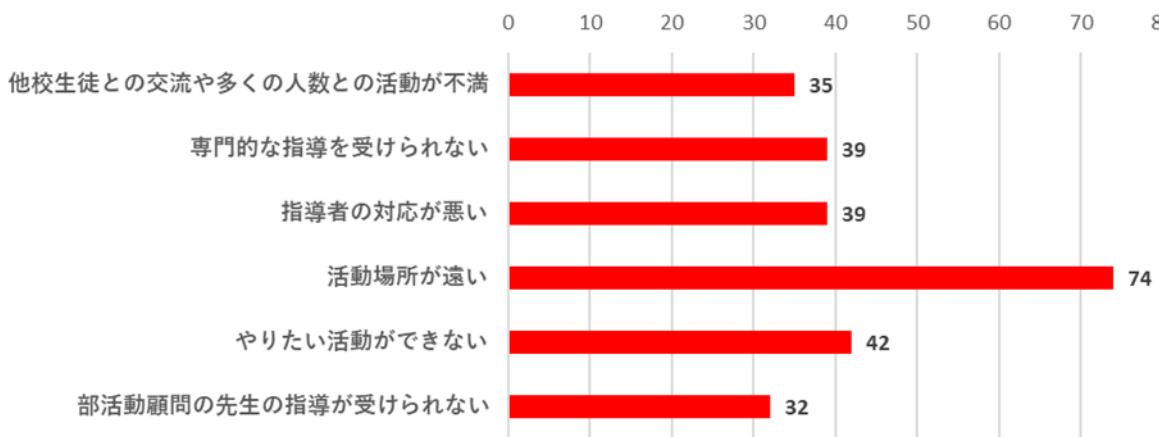
参加者実数はアンケート実施期間の11月12日段階では1,359人（内987名がアンケートに回答）
回答者の80%が肯定的評価で、否定的評価者が8%（計77人）

満足度肯定的評価者(790人)の理由【複数選択可】



肯定的評価者の理由では、他校生徒や多くの人の交流、やりたい種目ができるといった回答が多く、少子化が進む現状での多人数での活動や、在籍学校の未設置種目への参加といった地域展開による利点についての回答が多かった。

満足度否定的評価者(77人)の理由【複数選択可】



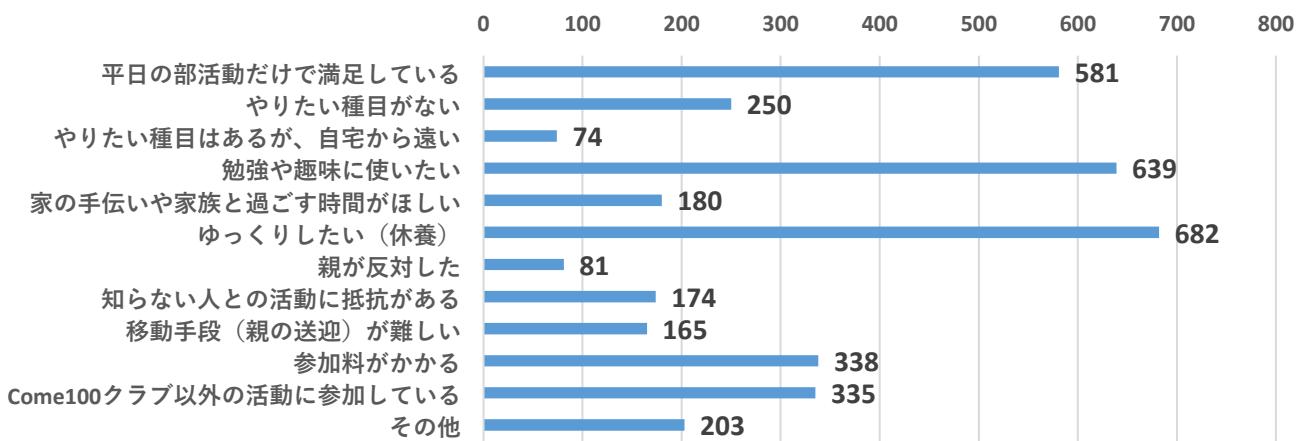
否定的評価の理由では、これまでの部活動が在籍校で実施されていたのに対し、離れた活動場所への移動が必要になったことに起因する理由がトップである。

今後も、より少子化が進むことによるクラブ数の減少が見込まれ、活動場所が遠くなる生徒数の増加が予想される。

より多くの生徒が参加することによるクラブ数の維持・増加が活動場所の遠距離化の解消に必要な条件になると考えられる。

【地域クラブ活動未参加者の結果】

参加しない理由【未参加者（1,736人）・複数選択可】



これまでの学校部活動は、平日と休日の活動がセットになっていたが、今回の地域移行（展開）により休日の活動参加や、平日の学校部活動とは違う種目等の選択が可能になった。

これにより、生徒が自身の希望に沿った多様な選択をしたことがうかがえる。

一方、休日を目的もなく過ごす生徒に対する心配の声もあり、より多くの生徒が、地域クラブ活動を含め、多種多様な体験活動に参加できる環境整備を進めることが必要である。

**移行後の参加状況
(1/8 現在)**

- 休日活動のある部活動をしていた中学1・2年生の約半数が参加しています。

\	1年生		2年生		3年生		男子計	女子計	合計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子			
スポーツ	286	190	298	182	5	1	589	373	962
文化芸術	36	168	29	133	0	0	65	301	366
計	322	358	327	315	5	1	654	674	1,328

**指導人材の登録状況
(1/8 現在)**

- 多くの保護者の方に指導スタッフ・活動サポーターとして、ご参加いただいています。活動サポーターは、子どもたちの活動時の見守りが主な役割です。

\	スポーツ	文化芸術	計
指導スタッフ	189	56	245
活動サポーター	171	96	267
計	360	152	512

**参加者・指導人材の
皆さんとの声**



事前研修で、活動の安心・安全と充実のために、指導スタッフとともに、子どもたちとの接し方やコーチングの手法、救急法なども学んでいただいている。

人づくりはまちづくり、「**米百俵のまち**」長岡ならではの地域力が子どもたちの活動への満足度につながっています。

長岡市では、昨年9月に中学校の休日部活動を全市一斉に「ながおかCome100クラブ活動」に移行しました。活動に参加している方々の声の一部を紹介します。

子どもたち（参加者）から

「ほかの学校の人たちとチームを作って、ゲーム形式の練習ができるて楽しい。」「演奏経験のある先生から、教えてもらえるのがありがたい。」「好きなことを通して知らないかった人とコミュニケーションが取れるのは嬉しい。」



指導スタッフや活動サポーター（指導人材）から

「とにかく音楽を好きになってほしい。それを第一に考えている。」「試合形式の練習ができるところを楽しんでほしい。」「活動の様子を見守ることで、子どもたちの安心につながるのでやりがいがある。」

- ながおかCome100クラブには参加申込の締め切りや3年生の大会後の引退という考え方はありません。一部の種目※を除いて、長岡市の中学生なら誰でも、いつでも申込ができます。

※ デザインクラブ（特設）には定員があり、随時の申込は受け付けておりません。

- ★ 新年度に向けての加入や見学のお知らせを2月下旬に予定しています。新1年生はもちろん、新2年生、新3年生の皆さんも参加申込ができます。

～自分の「好き」や「やってみたい」を探しに一緒に活動しませんか～

